

大学等名	帯広畜産大学
プログラム名	数理・データサイエンス・AI教育プログラム

リテラシーレベルのプログラムを構成する授業科目について

① 教育プログラムの修了要件

学部・学科によって、修了要件は相違しない

② 対象となる学部・学科名称

③ 修了要件

「データサイエンス入門」(2単位・1年次前期)を修得すること。

必要最低科目数・単位数

1 科目

2 単位

履修必須の有無

令和9年度までに履修必須とする計画

④ 現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-1	1-6	授業科目	単位数	必須	1-1	1-6
データサイエンス入門	2	○	○	○					

⑤ 「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-2	1-3	授業科目	単位数	必須	1-2	1-3
データサイエンス入門	2	○	○	○					

⑥ 「様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-4	1-5	授業科目	単位数	必須	1-4	1-5
データサイエンス入門	2	○	○	○					

⑦ 「活用にあたっての様々な留意事項(ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	3-1	3-2	授業科目	単位数	必須	3-1	3-2
データサイエンス入門	2	○	○	○					

⑧「実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3	授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3
データサイエンス入門	2	○	○	○	○						

⑨ 選択「4. オプション」の内容を含む授業科目

授業科目	選択項目	授業科目	選択項目
データサイエンス入門	4-1統計および数理基礎		

⑩ プログラムを構成する授業の内容

授業に含まれている内容・要素	講義内容
(1)現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている	1-1 <ul style="list-style-type: none"> ・ビッグデータ、IoT、AI、生成AI「データサイエンス入門」(第1回、第3回) ・データ量の増加「データサイエンス入門」(第1回、第2回) ・第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会「データサイエンス入門」(第1回、第2回)
	1-6 <ul style="list-style-type: none"> ・AI最新技術の活用例(生成AIなど)「データサイエンス入門」(第1回、第3回、第8回) ・大規模言語モデル「データサイエンス入門」(第3回)
(2)「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの	1-2 <ul style="list-style-type: none"> ・調査データ、実験データ、人の行動ログデータ、機械の稼働ログデータ「データサイエンス入門」(第1回、第2回、第9回) ・1次データ、2次データ「データサイエンス入門」(第2回) ・構造化データ、非構造化データ(文章、画像/動画、音声/音楽など)「データサイエンス入門」(第2回、第8回)
	1-3 <ul style="list-style-type: none"> ・データ・AI活用領域の広がり「データサイエンス入門」(第3回、第4回) ・対話、コンテンツ生成、翻訳・要約・執筆支援、コーディング支援など生成AIの応用「データサイエンス入門」(第3回、第4回)
(3)様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの	1-4 <ul style="list-style-type: none"> ・データ解析: 予測、グルーピング、パターン発見、最適化「データサイエンス入門」(第6回、第7回、第8回、第9回) ・データ可視化: 複合グラフ、多次元の可視化、関係性の可視化、地図上の可視化「データサイエンス入門」(第2回、第8回、第9回) ・非構造化データ処理: 画像/動画処理、音声/音楽処理「データサイエンス入門」(第2回、第8回、第9回) ・今のAIで出来ることと出来ないこと「データサイエンス入門」(第3回、第4回) ・マルチモーダル(言語、画像、音声など)、生成AIの活用(プロンプトエンジニアリング)「データサイエンス入門」(第2回、第3回)
	1-5 <ul style="list-style-type: none"> ・データサイエンスのサイクル(データの取得・管理・加工、探索的データ解析、データ解析と推論)「データサイエンス入門」(第2回、第5回、第6回、第7回) ・金融等におけるデータ・AI利活用事例紹介「データサイエンス入門」(第8回)

(4) 活用に当たっての様々な留意事項(ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする	3-1	<ul style="list-style-type: none"> ・倫理的・法的・社会的課題(ELSI)「データサイエンス入門」(第4回) ・個人情報保護、EU一般データ保護規則(GDPR)、オプトアウト「データサイエンス入門」(第4回) ・データ倫理:データのねつ造、改ざん、盗用、プライバシー保護「データサイエンス入門」(第4回) ・AI社会原則「データサイエンス入門」(第4回) ・データ・AI活用における負の事例紹介「データサイエンス入門」(第3回、第4回) ・生成AIの留意事項(ハルシネーションによる誤情報の生成)「データサイエンス入門」(第4回)
	3-2	<ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティの3要素(機密性、完全性、可用性)「データサイエンス入門」(第4回) ・匿名加工情報「データサイエンス入門」(第4回)
(5) 実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの	2-1	<ul style="list-style-type: none"> ・データの種類(量的変数、質的変数)「データサイエンス入門」(第5回、第9回) ・データの分布(ヒストグラム)と代表値(平均値、中央値、最頻値)「データサイエンス入門」(第5回、第9回、第11回、第13回、第14回) ・代表値の性質の違い「データサイエンス入門」(第5回) ・データのばらつき(分散、標準偏差)、外れ値「データサイエンス入門」(第5回、第11回、第13回、第14回) ・相関と因果(相関係数、疑似相関、交絡)「データサイエンス入門」(第9回) ・母集団と標本抽出「データサイエンス入門」(第9回)
	2-2	<ul style="list-style-type: none"> ・データ表現(棒グラフ、折線グラフ、散布図、箱ひげ図)「データサイエンス入門」(第11回、第12回、第14回) ・データの比較「データサイエンス入門」(第11回、第12回) ・優れた可視化事例の紹介「データサイエンス入門」(第15回)
	2-3	<ul style="list-style-type: none"> ・データの取得(機械判読可能なデータの作成・表記方法)「データサイエンス入門」(第2回、第8回、第10回、第11回、第13回) ・データの集計(和、平均)「データサイエンス入門」(第2回、第5回、第9回、第10回、第11回、第13回、第14回) ・データの並び替え「データサイエンス入門」(第2回、第10回) ・データ解析ツール(スプレッドシート)「データサイエンス入門」(第10回) ・表形式のデータ(CSV)「データサイエンス入門」(第2回)

⑪ プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

基礎的なデータリテラシーを構成する知識、技能、心構えを身につける。具体的には、①身の回りの生活や経済活動、および大学での学習・研究におけるデータサイエンスやAIの活用事例と、可能性、課題、限界を説明できる。②データサイエンスやAIの基礎となるデータの統計的・数理的な表現や推論について、適切な方法を判断、評価できる。③スプレッドシートにより、インプットとアウトプットのデジタルデータを適切に扱って、2変量までの記述統計を実践できる。④統計プログラミングにより、インプットとアウトプットのデジタルデータを適切に扱って、2変量までの記述統計を実践するプロセスを再現できる。

リテラシーレベルのプログラムの履修者数等の実績について

①プログラム開設年度

令和6年度(和暦)

②大学等全体の男女別学生数
(令和6年5月1日時点)

男性 434人 女性 702人 (合計 1136人)

③履修者・修了者の実績

学部・学科名称	学生数	入学定員	収容定員	令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		令和元年度		履修者数合計	履修率
				履修者数	修了者数												
畜産学部・共同獣医学課程	244	40	240	2	2											2	1%
畜産学部・畜産科学課程	892	210	860	132	130											132	15%
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
合計	1,136	250	1,100	134	132	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	134	12%

大学等名

教育の質・履修者数を向上させるための体制・計画について

- ① 全学の教員数 (常勤) 人 (非常勤) 人
- ② プログラムの授業を教えている教員数 人
- ③ プログラムの運営責任者
 (責任者名) (役職名)
- ④ プログラムを改善・進化させるための体制(委員会・組織等)

 (責任者名) (役職名)
- ⑤ プログラムを改善・進化させるための体制を定める規則名称
- ⑥ 体制の目的
- ⑦ 具体的な構成員

⑧ 履修者数・履修率の向上に向けた計画 ※様式1の「履修必須の有無」で「計画がある」としている場合は詳細について記載すること

令和6年度実績	12%	令和7年度予定	24%	令和8年度予定	36%
令和9年度予定	48%	令和10年度予定	60%	収容定員(名)	1,100

具体的な計画

令和6年度に本プログラムを開始し、対象者の履修率は12%であった。更に履修者数を増やすため、入学時に実施する新入生オリエンテーションにおいてプログラムの説明を行い履修を推奨する。その中で、数理・データサイエンス・AI教育の重要性及び本学の専門性との繋がりを説明し関心を深め、履修率の向上を図る。また、令和7年度からは受講しやすい時間割に変更したため、履修者数の増加が見込まれる。なお、今後の本プログラム科目の全学必修化について、現在検討を行っている。

⑨ 学部・学科に関係なく希望する学生全員が受講可能となるような必要な体制・取組等

本プログラム科目は、全ての学部学生の卒業要件単位として受講可能な基盤教育として開講しており、現実的に受講ができる時間割を設定している。令和7年度からは、前後の科目との関係も考慮し、より受講しやすい時間割に変更している。

⑩ できる限り多くの学生が履修できるような具体的な周知方法・取組

入学時に全ての新入生が参加するオリエンテーションにおいて、プログラムの説明を実施するとともに、全員に配布する履修要覧に掲載している。また、大学ホームページで本プログラムの内容等について発信している。

⑪ できる限り多くの学生が履修・修得できるようなサポート体制

授業担当教員その他、SA及びTAを配置することにより受講生の疑問に即時対応できるサポート体制をとっている。演習部分においては、PCを設置している実習室とオンラインで接続し、分担教員、SA及びTAを配置することで、端末を持たない学生であっても履修できるようにしている。また、授業内容をいつでも復習できるよう授業翌日にはアーカイブで配信している。さらに、必要となるアプリケーションやプログラミング環境はすべてクラウドサービスを活用することとし、学生が時間や場所、端末環境によらずに使用できるようにしている。

⑫ 授業時間内外で学習指導、質問を受け付ける具体的な仕組み

授業時間内の他、LMS(Moodle)を活用し学習指導を行っている。質問はいつでもLMS(Moodle)及びメール等により行うことができる。質問内容に応じ、科目を分担する教員が回答する体制となっている。

自己点検・評価について

① プログラムの自己点検・評価を行う体制(委員会・組織等)

大学教育センター教育支援室

(責任者名) 宮竹 史仁

(役職名) 大学教育センター教育支援室長

② 自己点検・評価体制における意見等

自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
学内からの視点	
プログラムの履修・修得状況	本プログラムを構成する科目では、学生ポータルサイトやLMS(Moodle)により履修者の履修状況や修得状況、課題への取組状況を授業担当教員や教務課が随時把握することができる。また、教育支援室では、定期的に履修状況や修得状況を確認している。なお、令和6年度はプログラム対象学生250人のうち、134人が履修し、132人が修得した。
学修成果	毎回の授業についてLMSで実施する小テスト(提出課題を含む)の結果、教育支援室において実施している授業評価アンケート及びLMSで実施する本プログラム独自の学生アンケートにより、学生の理解度を把握し、教育支援室において、本プログラムの評価及び改善に活用する。
学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度	教育支援室において実施している授業評価アンケート及び本プログラム独自の学生アンケートにより、学生の理解度を把握し、本プログラムの評価及び改善に活用する。
学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度	大学教育センターにおいて実施している授業評価アンケート及び本プログラム独自の学生アンケートにおいて、後輩等他の学生への推奨度を問う設問はないが、本プログラムの構成科目における授業評価アンケートで「授業は全体として満足できるものであった。」という設問に対し「強く思う」「そう思う」と回答した割合が84.55%と高く、履修者は他の学生に推奨できるものと考えている。令和7年度からはアンケートに当該設問を追加する予定である。
全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況	入学時に実施する新入生オリエンテーションにおいて、本プログラムの説明を行い履修を推奨している。また、プログラム独自の学生アンケートにおいて受講学生からの意見を聴取するなどして、授業の改善を図ることで、学生の関心を高め履修率の向上を図る。なお、今後の本プログラム科目の全学必修化について、現在検討を行っている。

自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
<p>学外からの視点</p> <p>教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価</p> <p>産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見</p>	<p>本プログラムは、令和6年度から開始したため、現時点ではプログラム修了者の進路等について評価することはできないが、今後、集約・評価していく予定である。</p> <p>本プログラムは、令和6年度から開始した。今後、本プログラムの内容・手法等について、産学連携センターにおいてAI関連研究・教育の推進に関し連携している企業や合同企業説明会参加企業等、本学とかかわりのある企業を中心に産業界からの意見をアンケートやインタビューにより求め、プログラムの改善に役立てていく予定である。</p>
<p>数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること</p> <p>内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること</p> <p>※社会の変化や生成AI等の技術の発展を踏まえて教育内容を継続的に見直すなど、より教育効果の高まる授業内容・方法とするための取組や仕組みについても該当があれば記載</p>	<p>「データサイエンス入門」は、座学要素を授業時間の一部にとどめ、LMS上の動画による予習、小テストによる復習等で補足することとし、授業時間の大半は身近な題材を用いた手計算や、表計算およびプログラミングを活用した演習により行っている。こうした実践的手法の工夫によって、楽しさや意義を十分に実感しながら理解を深められるものと評価できる。実際、履修後のアンケートでは、9割以上の学生が同手法を肯定的に評価した。また、さらに深く学びたい分野を複数選択で尋ねたところ、生成AI(4割)、統計学(3割)、プログラミング(3割)等、数理・データサイエンス・AI関連の学習意欲向上に貢献したことが明らかとなった。</p> <p>令和6年度「データサイエンス入門」は、実施後の担当教員間による情報交換会において、授業アンケート結果や授業実施結果、学生の様子、各自の専門分野におけるデータサイエンス関連研究の動向等を踏まえ、題材提供順序の変更や講義内容、実習手法の改善・新規導入等について検討し、その結果を次年度の科目実施に反映させることとした。今後も継続的に同様の検証・改善のしくみを機能させていく予定である。</p>

2024 年度 前期 畜産学部		日英区分 :日本語	
データサイエンス入門 INTRODUCTION TO DATA SCIENCE			前期
講義題目			
時間割コード		科目分野	
35117510			
担当教員 (ローマ字表記)		メールアドレス	
太田 洋輝 [OHTA Hiroki], 赤坂 卓美 [AKASAKA Takumi], 茅野 光範 [KAYANO Mitsunori], 斉藤 準 [SAITOH Jun], 中島 直久 [NAKASHIMA Naohisa]		hirokihta@obihiro.ac.jp	
対象学生		対象年次	
		1年次 ~	
単位数		授業形態	
2		講義	

講義概要

データサイエンスとAIを含む関連テクノロジーが社会、産業、学術研究の基盤となるなか、数理解の理解に基づきそれらを適切に活用する素養としてのデータリテラシーが大学生に求められている。本科目では、基礎的なデータリテラシーを構成する知識、技能、心構えを身につけ、より進んだ内容の学習や応用に備える。科目前半は講義形式を中心として、数理・データサイエンス・AIと実社会・実生活および獣医農畜産学関連研究との結びつきに関する動向、課題、可能性について学ぶ。科目後半は演習形式を中心として、スプレッドシート(表計算ソフト)および導入的な統計プログラミングにより、データの統計的処理、表現、分析のプロセスについて学ぶ。

到達目標

- 身の回りの生活や経済活動、および大学での学習・研究におけるデータサイエンスやAIの活用事例と、可能性、課題、限界を説明できる。
- データサイエンスやAIの基礎となるデータの統計的・数理的な表現や推論について、適切な方法を判断、評価できる。
- スプレッドシートにより、インプットとアウトプットのデジタルデータを適切に扱って、2変量までの記述統計を実践できる。
- 統計プログラミングにより、インプットとアウトプットのデジタルデータを適切に扱って、2変量までの記述統計を実践するプロセスを再現できる。

授業計画

- 数理・データサイエンス・AI を学ぶ目的(教科書 1.1)【太田】
- 実社会におけるデータと AI の活用(教科書 1.1, 5)【斉藤】
- 生成AIとプロンプトエンジニアリング(教科書 3.8)【斉藤】
- データと AI の活用に関する課題とリスク(教科書 1.2)【斉藤】
- データサイエンスのサイクル(教科書 1.3)【太田】
- データサイエンスの技術と理論(教科書 3)【太田】
- データサイエンスの数理的基礎(教科書 2, 3)【太田】
- 獣医農畜産学分野におけるデータ・AI 活用の最新動向(教科書 5)【中島】
- データリテラシー(教科書 2.4)【茅野】
- データリテラシー演習(1) スプレッドシート(教科書 4.1)【中島】
- データリテラシー演習(2) 記述統計量(教科書 4.1)【茅野】
- データリテラシー演習(3) データの可視化(教科書 4.1)【茅野】
- データリテラシー演習(4) プログラミングとデータ処理(教科書 4.2)【赤坂】
- データリテラシー演習(5) プログラミングと記述統計(教科書 4.2)【赤坂】
- データリテラシー演習(6) データサイエンスの実践(教科書 4.2)【赤坂】

キーワード

AI, データサイエンス, データリテラシー, Excel/スプレッドシート, R/統計プログラミング

テキスト・教材

教科書1	ISBN			
	書名	データサイエンス入門		
	著者名	竹村彰通ほか編	出版社	学術図書出版社
	備考	必要に応じて他の教材・資料をMoodleで適宜配布する。		
	出版年	2019		

参考図書

参考書1	ISBN					
	書名	RとPythonで学ぶ実践的データサイエンス&機械学習				
	著者名	有賀有紀・大橋俊介	出版社	技術評論社	出版年	2019
	備考					
参考書2	ISBN					
	書名	統計学の図鑑				
	著者名	涌井良幸・涌井貞美	出版社	技術評論社	出版年	2015
	備考					
参考書3	ISBN					
	書名	応用基礎としてのデータサイエンス				
	著者名	北川源四郎・竹村彰通 編	出版社	講談社	出版年	2023
	備考					

🔴 準備学習（予習・復習）等の内容と分量

予習:教科書，資料等の指定箇所をあらかじめ読み，疑問点を整理する。回によって，Moodleに他の必要な準備学習が指示される場合がある。各回2時間程度の分量が目安となる。

復習:Moodleの小テストに取り組む。回によって，Moodleに他の課題が指示される場合がある。各回2時間程度の学修時間が目安となる。

🔴 成績評価の基準と方法

復習小テストの評点合計:100%。

他の課題が指示された場合は，加点として扱われる。

🔴 ルーブリック表などの参考画像

🔴 履修にあたっての注意事項

履修を希望する学生は，初回授業(ガイダンス)に必ず出席すること。やむを得ず出席できない場合は，必ず担当教員に連絡すること。演習は，大講義室，農学情報基盤センター第1・2・3実習室に分かれて同時に行う。履修場所の割り当ては開講後授業時に適宜指示するが，実習室はノートパソコンやタブレット型パソコンを持参できない学生を優先する。その他の注意事項については，初回授業時に説明がある。

🔴 在室時間（オフィスアワー）

初回授業時に案内がある。

🔴 参照HP

<https://moodle.obihiro.ac.jp/moodle3/course/view.php?id=490>

🔴 研究室HP

上記参照HPに案内がある。

🔴 備考

本科目は，文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度(リテラシーレベル)」に準拠している。1年次後期以降の関連科目へとつながる準備的科目であり，それらと組み合わせることで数理・データサイエンス・AIのより進んだ素養を効果的に身につけることができる。

🔴 実務経験と関連する授業内容

特になし

🔴 添付ファイル

10. 令和6年度入学者共同獣医学課程教育課程表

共同獣医学課程

1. 一般教養教育科目（基盤教育）
2. 一般教養教育科目（共通教育）
3. 専門科目（展開教育）

表の見方

「必修・選択」欄

◎印・・・必修科目

無印・・・選択科目

※なお、各科目のシラバス（授業概要・授業計画等）については、本学ホームページ <https://www.obihiro.ac.jp> に掲載していますので、確認してください。

1. 一般教養教育科目(基盤教育)

区分	科目コード	授業科目名	単位数	開講期												履修方法	
				1年次		2年次		3年次		4年次		5年次		6年次			
				1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期	9期	10期	11期	12期		
学 と 基 盤	理論科目	351010 基礎学術ゼミナール	1	◎	1												必修10単位、 選択2単位以上
		351020 農畜産科学概論Ⅰ(畜産学)	1	◎	1												
		351110 生物学概論	2	◎		2											
		351120 化学概論	2			2											
		351130 物理学概論	2	◎	2												
		351140 地球科学概論	2				2										
		351150 数学概論	2	◎	2												
		351160 経済学概論	2	◎		2											
	351175 データサイエンス入門	2		2													
	実験演習科目	352010 化学実験	1		1												必修3単位、 選択1単位以上(選択には、 実験1単位以上含む。)
		352020 生物学実験	1	◎	1												
		352030 地学実験	1		1												
		352040 物理学実験	1		1												
		352045 数理統計入門	1	◎		1											
		352055 統計学	1	◎		1											
		352060 情報処理基礎演習	1			1											
		352070 情報処理演習Ⅰ	1				1										
352080 情報処理演習Ⅱ		1					1										
352090 情報処理演習Ⅲ		1					1										
352100 情報処理演習Ⅳ	1																
生 き る 基 盤	コア科目	361010 文学	2			2										必修2単位、 選択2単位以上	
		361020 哲学	2		2												
		361030 心理学	2				2										
		361040 法学(日本国憲法)	2			2											
		361050 社会学	2			2											
		361060 近現代史	2				2										
		361070 体育実技Ⅰ	1	◎	1												
		361080 体育実技Ⅱ	1	◎		1											
		361090 健康・スポーツサイエンス	2			2											
		361100 政治学	2					2									
		発 展 的 科 目	発展的科目	362030 健康・スポーツコンディショニング	2					2							
362040 日本語表現論	2					2											
362050 市民生活と法	2						2										
362060 教育原理	2						2										
362070 教育心理学	2				2												
362080 インターンシップ	1							1(3、5、7、9期いずれかで履修)									
362115 連携教育総合(基盤)Ⅰ	1~2					1~2(1、3、5、7期いずれかで履修)											
362125 連携教育総合(基盤)Ⅱ	1~2					1~2(2、4、6、8期いずれかで履修)											
363010 日本と世界の食文化	2				2												
363025 比較芸術論	2						2										
発 展 的 科 目・ 国 際 科 目	発展的科目・国際科目	363030 国際関係論	2			2											
		363040 風土と酪農・農業	2				2										
		363050 表象文化論	2							2							

※「情報処理演習Ⅳ」は当面の間、開講しない

区分	科目コード	授業科目名	単位数	必修・選択	開講期												履修方法	
					1年次		2年次		3年次		4年次		5年次		6年次			
					1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期	9期	10期	11期	12期		
一般教養教育科目	英語	371210	English I	2	◎	2												必修2単位、 選択4単位以上
		371220	English II	2		2												
		371230	English III	2			2											
		371240	English IV	2				2										
		371250	English V	2					2									
	ドイツ語・スペイン語	372010	ドイツ語会話 I	2		2												選択4単位以上
		372020	ドイツ語会話 II	2			2											
		372030	ドイツ語会話 III	2				2										
		372040	ドイツ語会話 IV	2					2									
		372050	ドイツ語文法 I	2		2												
		372060	ドイツ語文法 II	2			2											
		372070	スペイン語 I	2		2												
		372080	スペイン語 II	2			2											
		372100	中南米の言語と文化	2			2											

区分	科目コード	授業科目名	単位数	必修・選択	開講期												履修方法
					1年次		2年次		3年次		4年次		5年次		6年次		
					1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期	9期	10期	11期	12期	
選択科目	601930	野生動物学演習	1									1					
	601940	動物園学	1						1								
	601950	研究スタートアップ演習	1					1									
	601960	生物科学基礎演習(PBL)	1			1											
	601970	獣医英語演習	0.5						0.5								
	601980	水産学概論	1											1			
	601990	長期現地実習	2													2(不定期)	
	602000	家畜栄養学	2								2						
	602015	医学概論	2				2										
	602021	馬学総論 I	2				2										
	602025	馬学総論 II	2				2										
	602030	環境微生物学	2				2										
	602040	分子生物学	2				2										
	602050	農畜産関係法	2						2								
602060	国際農畜産開発論	2				2											
602080	環境昆虫学	2				2											
アドバンスト科目	602090	課題研究	10	◎												10(9期～12期)	
	602100	アドバンスト演習	0.5/1 2/2.5	◎												0.5/1 1/1 0.5/1 1/1	

必修147単位
(アドバンスト演習5.5単位含む)、選択2単位以上

(注)・「単位数」の欄の数字に[]のついてる授業科目は、授業(講義)題目が異なるものであれば複数回の履修が可能な授業科目である。

10. 令和6年度入学者畜産科学課程教育課程表

畜産科学課程

1. 基盤教育
2. 共通教育
3. 展開教育

表の見方

1. 「必修・指導・選択」欄

◎印・・・必修科目

○印・・・履修指導科目（選択科目ではあるが、ユニットあるいはコースの教育目標の達成のために履修することが望ましいとされる科目）

無印・・・選択科目

2. 「教職関係」欄

教員免許取得に必要な科目について、教職上の科目区分を示しています。

また、科目区分での必修・選択は以下のとおり表示しています。

◎印・・・必修科目

無印・・・選択科目

※なお、各科目のシラバス（授業概要・授業計画等）については、本学ホームページ <https://www.obihiro.ac.jp> に掲載していますので、確認してください。

1. 基盤教育

区分	科目コード	授業科目名	単位数	必修・選択	開講期								履修方法	教職						
					1年次		2年次		3年次		4年次									
					1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期								
学 と 基 盤	理論科目	351110 生物学概論	2	◎		2														
		351120 化学概論	2	◎		2														
		351130 物理学概論	2		2															
		351140 地球科学概論	2					2											◎地学	
		351150 数学概論	2		2															
		351160 経済学概論	2			2														
		351175 データサイエンス入門	2		2															
		351180 入門生物学※	1		1															
		351190 入門化学※	1		1															
		351200 入門数学※	1		1															
	351210 入門物理学※	1		1																
	実験演習科目	352010 化学実験	1					1											◎各実験	
		352020 生物学実験	1					1											◎各実験	
		352030 地学実験	1					1											◎各実験	
		352040 物理学実験	1					1											◎各実験	
		352060 情報処理基礎演習	1			1													情報機器	
		352070 情報処理演習Ⅰ	1				1												情報機器	
		352080 情報処理演習Ⅱ	1						1										情報機器	
		352090 情報処理演習Ⅲ	1					1											情報機器	
352100 情報処理演習Ⅳ		1																情報機器		
生 き る 基 盤	コア科目	361010 文学	2			2														
		361020 哲学	2		2															
		361030 心理学	2		2															
		361040 法学(日本国憲法)	2				2												◎憲法	
		361050 社会学	2			2														
		361060 近現代史	2					2												
		361070 体育実技Ⅰ	1	◎	1														◎体育	
		361080 体育実技Ⅱ	1			1													◎体育	
		361090 健康・スポーツサイエンス	2			2														
	361100 政治学	2						2												
	発展的科目	362030 健康・スポーツコンディショニング	2								2									
		362040 日本語表現論	2				2													
		362050 市民生活と法	2						2											
		362060 教育原理	2					2											◎教職	
		362070 教育心理学	2					2											◎教職	
		362080 インターンシップ	1						1(3、5、7期いずれかで履修)											
		362090 基盤教育総合Ⅰ	2						2(3、5、7期いずれかで履修)											
		362100 基盤教育総合Ⅱ	2						2(4、6、8期いずれかで履修)											
		362115 連携教育総合(基盤)Ⅰ	1~2				1~2(1、3、5、7期いずれかで履修)													
362125 連携教育総合(基盤)Ⅱ		1~2				1~2(2、4、6、8期いずれかで履修)														
発展的科目・国際科目	363010 日本と世界の食文化	2		2																
	363025 比較芸術論	2						2												
	363030 国際関係論	2						2												
	363040 風土と酪農・農業	2						2												
	363050 表象文化論	2										2								

※の履修対象者は大学教育センターが指定
 ※「情報処理演習Ⅳ」は当面の間、開講しない

区分	科目コード	授業科目名	単位数	必修・選択	開講期								履修方法	教職		
					1年次		2年次		3年次		4年次					
					1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期				
共通基盤	英語	371210	English I	2	◎	2									必修6単位 ※English Iを修得したらEnglish IIを履修できる。 English IIを修得したらEnglish IIIを履修できる。	外国語
		371220	English II	2	◎		2									外国語
		371230	English III	2	◎			2								
		371240	English IV	2					2							
		371250	English V	2							2					
	ドイツ語・スペイン語	372010	ドイツ語会話 I	2		2									選択4単位以上 ※1年次に登録できる科目は、前期1科目、後期1科目とする。	
		372020	ドイツ語会話 II	2			2									
		372030	ドイツ語会話 III	2				2								
		372040	ドイツ語会話 IV	2					2							
		372050	ドイツ語文法 I	2		2										
		372060	ドイツ語文法 II	2			2									
		372070	スペイン語 I	2		2										
372080	スペイン語 II	2			2											
372100	中南米の言語と文化	2				2										

2. 共通教育

区分	科目コード	授業科目名	単位数	必修(◎)・指導(○)・選択						開講期								履修方法	教職	
				家畜	生態	食品	経済	工学	植物	1年次		2年次		3年次		4年次				
										1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期			
共通教育 基礎科目	421010	全学農畜産実習	2	◎	◎	◎	◎	◎	◎											◎農業
	421020	農畜産科学概論Ⅰ(畜産学)	1	◎	◎	◎	◎	◎	◎	2	1									◎農業
	421030	農畜産科学概論Ⅱ(食品科学)	1	◎	◎	◎	◎	◎	◎	1										◎農業
	421040	農畜産科学概論Ⅲ(農学)	1	◎	◎	◎	◎	◎	◎	1										◎農業
	421050	農畜産科学概論Ⅳ(農業環境工学)	1	◎	◎	◎	◎	◎	◎	1										◎農業
	421060	農畜産科学概論Ⅴ(環境生命科学)	1	◎	◎	◎	◎	◎	◎		1									◎農業
	421070	農畜産科学概論Ⅵ(農業経済学)	1	◎	◎	◎	◎	◎	◎			1								◎農業
	421080	キャリア教育Ⅰ	1	◎	◎	◎	◎	◎	◎		1									◎農業
	421090	キャリア教育Ⅱ	1	◎	◎	◎	◎	◎	◎			1								◎農業
	421100	家畜家禽論	2	○							2									※農業
	421110	農業と経済	2				○				2									※農業
	421120	農業とテクノロジー	2					○				2								※農業
	421130	土壌栽培学基礎	2						○		2									※農業
	421140	食の安全学概論	2	◎	◎	◎	◎	◎	◎			2								◎農業
	421150	家畜生産と獣医学	2	○								2								◎生物学
	421160	生態学	2		◎							2								◎生物学
	421170	遺伝学	2	○	○							2								◎生物学
	421180	生物化学	2	○	○	○						2								◎化学
	421190	有機化学	2		○	○						2								◎化学
	421200	無機化学	2		○	○						2								◎化学
	421210	分析化学	2		○	○						2								◎化学
	421220	基礎物理学	2		○			○				2								◎物理学
	421240	基礎経済学	2				◎		○											◎農業
	421250	生命と福祉	2									2								◎農業
	421260	細胞生物学	2		○				○			2								◎生物学
	421270	微生物学	2		○				○			2								◎生物学
	421280	応用物理学	2					○				2								◎物理学
	421290	農業気象学	2		○			○	○			2								◎地学
	421295	数理統計入門	1	○	◎	◎	◎	◎	◎			1								◎農業
	421305	統計学	1	○	◎	◎	◎	◎	◎			1								◎農業
421310	基礎経営学	2				◎		○			2								◎農業	
421320	社会心理学	2									2								◎農業	
421330	環境法	2				○					2								◎農業	
421340	農畜産関係法	2			○	○		○				2							◎農業	
421345	動物医科学入門	1											1						◎農業	
421360	共通教育総合Ⅰ	2							2(1期～8期の間で履修)											
421370	共通教育総合Ⅱ	2			○				2(1期～8期の間で履修)											
421380	連携教育総合(共通)Ⅰ	1~4							1~4(1, 3, 5, 7期いずれかで履修)											
421390	連携教育総合(共通)Ⅱ	1~4							1~4(2, 4, 6, 8期いずれかで履修)											
421400	馬学総論Ⅰ	2	○								2								農業	
421410	馬学総論Ⅱ	2	○								2								農業	
共通教育 発展科目	家畜生産 科学ユニット	425020	家畜栄養学Ⅰ	2	◎			○				2								※農業
		425030	家畜管理学Ⅰ	2	◎	○		○				2								※農業
		425040	家畜生体機能学Ⅰ	2	◎							2								◎農業
		425080	家畜生体機能学Ⅱ	2	◎	○						2								◎農業
		425090	家畜繁殖学Ⅰ(繁殖生理)	2	◎							2								◎農業
	環境生態 学ユニット	425100	家畜育種学Ⅰ	2	◎							2								◎農業
		425310	環境微生物学	2		◎						2								◎生物学
		425320	環境昆虫学	2		◎						2								◎生物学
		425330	植物生態学	2		◎			○			2								◎生物学
		425340	動物生態学	2		◎						2								◎生物学
	食品科学 ユニット	425350	害虫管理学	2		◎			○			2								◎生物学
		425360	野生動物科学	2		◎						2								◎生物学
		425370	植生管理学	2		◎						2								◎生物学
		425390	野生動物管理学	2		◎							2							◎生物学
		425610	分子生物学	2	○			○		○			2							
425620	食品化学	2			◎						2								◎化学	
425630	食品工学	2			◎						2								◎物理学	
425640	食品製造学	2			◎	○					2								◎物理学	
425655	医学概論	2				◎					2								◎生物学	
425660	食品栄養学	2				◎						2							◎生物学	
425670	食肉加工利用学	2			○	○						2							◎生物学	

区分	科目コード	授業科目名	単位数	必修(◎)・指導(○)・選択						開講期								履修方法	教職		
				家畜	生態	食品	経済	工学	植物	1年次		2年次		3年次		4年次					
										1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期				
農業経済学ユニット	425910	農業資源経済学	2					◎											農業経済学ユニットは、必修12単位、選択20単位以上	農業	
	425920	農業経営学	2					◎					2							※農業	
	425930	フードシステム学	2					◎					2							農業	
	425940	国際開発経済学	2					◎					2							農業	
	425950	食料・農業政策学	2					◎						2						農業	
	425960	農業支援組織学	2					◎						2						農業	
	425970	農業統計学	2					○					2							農業	
	426210	水理学	2										2							農業環境工学ユニットは、必修4単位、選択科目と併せて45単位以上	物理学
	426230	測量学	2										2							※農業	
	426240	工学基礎 I	2										2							物理学	
426250	工学基礎 II	2										2						物理学			
426260	土質工学	2										2						地学			
426280	地域環境計画学	2					○	○				2						農業			
426290	農地農村整備学	2					○	◎					2					農業			
426300	循環型環境システム学	2						○					2					植物生産科学ユニットは、必修18単位、選択22単位以上	農業		
426320	農作業システム学	2											2					農業			
426345	生物生産制御学	2												2				農業			
426360	農業水文学	2												2				農業			
426370	土木施工材料学	2												2				農業			
426380	畜産機械施設学	2												2				農業			
426395	バイオマス化学	2												2				農業			
426400	気象環境学	2													2			地学			
426410	生物生産機械・環境工学	2						◎					2					※農業			
農業環境工学ユニット	426510	食用作物学	2					○					2					農業			
	426520	持続型農業実習	2										2					農業			
	426530	植物生産科学	2										2					農業			
	426540	植物生産土壌学	2										2					地学			
	426550	飼料作物学	2					○					2					※農業			
	426560	植物育種学	2										2					生物学			
	426570	植物病理学	2										2					生物学			
	426580	土壌環境科学	2										2					地学			
	426590	植物生理学	2											2				生物学			
	426600	園芸作物学	2					○						2				生物学			
426630	植物ゲノム・分子育種学	2											2				生物学				
426640	応用昆虫学	2											2				生物学				
植物生産科学ユニット	426810	基礎免疫学	1												1			生物学			
	426820	臨床応用免疫学	1												1			生物学			
	426845	実験動物学・獣医遺伝学	2												2						
	426855	微生物学 I	2												2						
	426860	基礎動物衛生学	1											1							
	426870	応用動物衛生学	1												1						
	426880	分子遺伝情報科学	1													1					
	426890	基礎薬理学	2												2						
	426900	細菌学	1										1					生物学			
	426910	獣医公衆衛生学	1										1								
獣医学ユニット	426925	環境毒性学・環境衛生学	1													1					
	426930	病態薬理学	2										2								
	426945	基礎毒性学	1												1						
	426950	応用毒性学	1												1						
	426960	生物統計学	2	○	○	○	○	○	○	○					2			生物学			
	426970	獣医疫学	1.5						○						1.5						
	427110	海外フィールド展開入門	2										2								
	427115	国際農畜産開発論	2										2								
	427140	海外実習	2												2			◎農業			
	427150	国際協力カディベート論	2												2						
427160	海外フィールドワーク	2												2							
427170	国際開発フィールドワーク	2												2							
427180	Advanced seminar	2												2							
427410	丈夫な馬づくり学	2	○											2							
427420	実践競走馬学	2	○											2							
427430	乗馬・飼養管理実習	1												1							
427440	乗馬・グランドワーク実習	1												1							
427450	馬産業施設等長期インターンシップ	6													6						
427460	清酒学	1						○						1							
427470	清酒醸造実習	1						○						1							
国際教育科目	427110	海外フィールド展開入門	2										2								
	427115	国際農畜産開発論	2										2								
産学連携科目	427410	丈夫な馬づくり学	2	○											2						
	427420	実践競走馬学	2	○											2						

3. 展開教育

家畜生産科学ユニット

科目コード	授業科目名	単位数	必・選	開講期								履修方法	教職	
				1年次		2年次		3年次		4年次				
				1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期			
610010	卒業研究ゼミナールⅠ	1	◎					1						
610020	卒業研究ゼミナールⅡ	1	◎						1					
610030	卒業研究ゼミナールⅢ	1	◎							1				
610040	卒業研究ゼミナールⅣ	1	◎								1			
610050	卒業研究	2	◎								2			
610060	家畜生産科学実習Ⅰ	2	◎			2								
610065	家畜生産科学実習Ⅱ	2	◎			2								農業
610070	家畜生産科学実習Ⅲ	2	◎					2						農業
610080	家畜生産科学実習Ⅳ	2	◎					2						農業
610100	家畜生産科学実習Ⅴ	1	◎							1				各実験
610110	家畜生産統計学演習	1	◎							1				農業
610120	家畜育種学演習	1	◎							1				農業
610130	草地飼料学	2	◎					2						農業
610150	乳肉生産科学	2	◎							2				
610160	家畜生産衛生学	2	◎							2				農業
610170	家畜管理学Ⅱ	2	◎							2				農業
610180	家畜栄養学Ⅱ	2	◎							2				農業
610190	家畜育種学Ⅱ	2	◎							2				農業
610200	家畜繁殖学Ⅱ(生殖工学)	2	◎							2				農業

必修15単位、
選択は、共通
教育基礎科
目、共通教育
発展科目と併
せて44単位以
上

環境生態学ユニット

科目コード	授業科目名	単位数	必・選	開講期								履修方法	教職	
				1年次		2年次		3年次		4年次				
				1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期			
620010	卒業研究ゼミナールⅠ	1	◎					1						
620020	卒業研究ゼミナールⅡ	1	◎						1					
620030	卒業研究ゼミナールⅢ	1	◎							1				
620040	卒業研究ゼミナールⅣ	1	◎								1			
620050	卒業研究	2	◎								2			
620060	環境生態学実習Ⅰ	2	◎					2						各実験
620070	環境生態学実習Ⅱ	1	◎							1				各実験
620080	保全科学	2	◎							2				

必修9単位、選
択は共通教育
発展科目と併
せて24単位以
上

食品科学ユニット

科目コード	授業科目名	単位数	必・選	開講期								履修方法	教職	
				1年次		2年次		3年次		4年次				
				1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期			
630010	卒業研究ゼミナールⅠ	1	◎					1						
630020	卒業研究ゼミナールⅡ	1	◎						1					
630030	卒業研究ゼミナールⅢ	1	◎							1				
630040	卒業研究ゼミナールⅣ	1	◎								1			
630050	卒業研究	2	◎								2			
630060	食品科学基礎実習Ⅰ	2	◎					2						各実験
630070	食品科学基礎実習Ⅱ	2	◎					2						各実験
630080	食品科学基礎実習Ⅲ	2	◎					2						各実験
630090	食品科学応用実習Ⅰ	2	◎						2					各実験
630100	食品科学応用実習Ⅱ	2	◎						2					各実験
630110	食品科学応用実習Ⅲ	2	◎						2					各実験
630120	酵素化学	2	◎					2						化学
630130	応用微生物学	2	◎					2						生物学
630140	環境衛生学	2	◎								2			化学
630150	食品衛生学	2	◎							2				生物学
630160	天然物応用化学	2	◎					2						化学
630190	栄養機能化学	2	◎						2					化学
630200	農産資源利用学	2	◎					2						
630240	品質管理	2	◎							2				
630250	乳科学	2	◎					2						化学

必修26単位、
選択は共通教
育発展科目と
併せて21単位
以上

農業経済学ユニット

科目コード	授業科目名	単位数	必・選	開講期								履修方法	教職
				1年次		2年次		3年次		4年次			
				1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期		
640010	卒業研究ゼミナールⅠ	1	◎						1				
640020	卒業研究ゼミナールⅡ	1	◎							1			
640030	卒業研究ゼミナールⅢ	1	◎								1		
640040	卒業研究ゼミナールⅣ	1	◎									1	
640050	卒業研究	2	◎								2		
640060	農業経済学実習Ⅰ	1	◎				1						
640070	農業経済学実習Ⅱ	2	◎					2					
640080	農業経済学実習Ⅲ	1	◎						1				
640100	農企業会計学	2	◎					2					
640110	畜産衛生経済学	2	◎						2				

農業環境工学ユニット

科目コード	授業科目名	単位数	必・選	開講期								履修方法	教職
				1年次		2年次		3年次		4年次			
				1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期		
650010	卒業研究ゼミナールⅠ	1	◎						1				
650020	卒業研究ゼミナールⅡ	1	◎							1			
650030	卒業研究ゼミナールⅢ	1	◎								1		
650040	卒業研究ゼミナールⅣ	1	◎									1	
650050	卒業研究	2	◎								2		
650070	測量学実習	2	◎					2					
650090	土質工学実験	2	いづれか、2科目◎						2				
650100	生物生産機械・環境工学実習Ⅰ	2	◎				2						
650110	生物生産機械・環境工学実習Ⅱ	2	◎					2					

植物生産科学ユニット

科目コード	授業科目名	単位数	必・選	開講期								履修方法	教職
				1年次		2年次		3年次		4年次			
				1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期		
660010	卒業研究ゼミナールⅠ	1	◎						1				
660020	卒業研究ゼミナールⅡ	1	◎							1			
660030	卒業研究ゼミナールⅢ	1	◎								1		
660040	卒業研究ゼミナールⅣ	1	◎									1	
660050	卒業研究	2	◎								2		
660060	植物生産科学実習Ⅰ	2	◎					2					
660070	植物生産科学実習Ⅱ	2	◎						2				

○帯広畜産大学大学教育センター規程

(平成16年4月7日規程第14号)

改正	平成17年4月20日規程第11号	平成18年2月15日規程第6号
	平成20年3月11日規程第11号	平成22年5月26日規程第19号
	平成24年3月15日規程第25号	平成24年9月12日規程第35号
	平成26年3月12日規程第10号	平成27年3月19日規程第28号
	平成29年3月28日規程第15号	平成29年9月20日規程第30号
	令和元年11月13日規程第32号	令和4年4月1日畜大規程第1号
	令和6年6月19日畜大規程第3号	

(趣旨)

第1条 この規程は、帯広畜産大学組織規則(平成16年規則第1号)第17条第2項の規定に基づき、帯広畜産大学大学教育センター(以下「センター」という。)の組織及び運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

(目的)

第2条 センターは、帯広畜産大学における入学者の選抜並びに教育の企画、調整及び運営並びに学生の相談及び支援を行い、もって教育の充実を図ることを目的とする。

(業務)

第3条 センターは、次に掲げる業務を行う。

- (1) 教育課程の編成に関すること。
- (2) 大学院担当教員の資格審査に関すること。
- (3) 入学者の選抜に関すること。
- (4) 授業の評価及び改善に関すること。
- (5) 学生の学習支援に関すること。
- (6) 学生の相談及び支援に関すること。
- (7) 障がい等のある学生の特別な修学上の支援に関すること。
- (8) 教育の内部質保証に関すること。
- (9) その他学生の教育及び生活等に関すること。

(職員)

第4条 センターに、次の職員を置く。

- (1) センター長
- (2) 専任教員
- (3) その他必要な職員

(運営会議)

第5条 センターに、センターの運営及び連絡調整のため、帯広畜産大学大学教育センター運営会議(以下「運営会議」という。)を置く。

2 運営会議は、次に掲げる者をもって組織する。

- (1) センター長
- (2) センターの専任教員
- (3) 第7条第2項に規定する学部教育部長
- (4) 第9条第2項に規定する大学院教育部長
- (5) 第11条第2項に規定する入試部長
- (6) 第13条第3項に規定する教育支援室長
- (7) 第13条第3項に規定する学生相談室長
- (8) 第13条第3項に規定する就職支援室長
- (9) 第13条第3項に規定する学生・課外活動支援室長
- (10) 第13条第3項に規定する留学生支援室長

- (11) 第13条第3項に規定する特別修学支援室長
 - (12) 第13条第3項に規定する入学者選抜方法研究室長
 - (13) 第13条第3項に規定する入試広報室長
 - (14) 教務課長
 - (15) 入試課長
 - (16) 学生支援課長
 - (17) その他大学教育センター長が必要と認めた職員
- (部)

第6条 センターに、学部教育部、大学院教育部及び入試部を置く。

(学部教育部)

第7条 学部教育部は、学部及び別科の学生に対し教育及び学生支援の実施に関する必要な事項について企画、調整及び運営を行うものとする。

- 2 学部教育部に学部教育部長を置き、学長が指名する副学長をもって充てる。
- 3 学部教育部に副学部教育部長若干人を置き、学部教育部長が指名する教員をもって充てる。
- 4 副学部教育部長の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、副学部教育部長の任期の末日は、当該副学部教育部長を指名する学部教育部長の任期の末日以前でなければならない。

(学部教育部会議)

第8条 学部教育部に、前条第1項の実施に関し必要な事項を審議するため、帯広畜産大学大学教育センター学部教育部会議(以下「学部教育部会議」という。)を置く。

- 2 学部教育部会議の組織及び運営に関し必要な事項は、別に定める。

(大学院教育部)

第9条 大学院教育部は、大学院の学生に対し教育及び学生支援の実施に関する必要な事項について企画、調整及び運営を行うものとする。

- 2 大学院教育部に大学院教育部長を置き、学長が指名する副学長をもって充てる。
- 3 大学院教育部に副大学院教育部長若干人を置き、大学院教育部長が指名する教員をもって充てる。
- 4 副大学院教育部長の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、副大学院教育部長の任期の末日は、当該副大学院教育部長を指名する大学院教育部長の任期の末日以前でなければならない。

(大学院教育部会議)

第10条 大学院教育部に、前条第1項の実施に関し必要な事項を審議するため、帯広畜産大学大学教育センター大学院教育部会議(以下「大学院教育部会議」という。)を置く。

- 2 大学院教育部会議の組織及び運営に関し必要な事項は、別に定める。

(入試部)

第11条 入試部は、入学者選抜に関する必要な事項について、企画、調整及び運営を行うものとする。

- 2 入試部に入試部長を置き、学長が指名する副学長をもって充てる。
- 3 入試部に副入試部長若干人を置き、入試部長が指名する教員をもって充てる。
- 4 副入試部長の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、副入試部長の任期の末日は、当該副入試部長を指名する入試部長の任期の末日以前でなければならない。

(入試部会議)

第12条 入試部に、前条第1項の実施に関し必要な事項を審議するため、帯広畜産大学大学教育センター入試部会議(以下「入試部会議」という。)を置く。

2 入試部会議の組織及び運営に関し必要な事項は、別に定める。

(室)

第13条 センターに学部教育部及び大学院教育部が実施する教育及び学生支援に係る諸施策について、その円滑な実施、充実を図るため、次に掲げる室を置く。

(1) 教育支援室

(2) 学生相談室

(3) 就職支援室

(4) 学生・課外活動支援室

(5) 留学生支援室

(6) 特別修学支援室

2 入試部に入学者選抜方法及び学生募集広報に係る諸施策について、その円滑な実施及び充実を図るため、次に掲げる室を置く。

(1) 入学者選抜方法研究室

(2) 入試広報室

3 前2項に掲げる室に室長を置く。

4 第1項及び第2項に掲げる室の組織及び運営に関し必要な事項は、別に定める。

(クラス担任等)

第14条 センターに、学生の修学、学生生活に関する支援、卒業研究の指導、進路指導及び就職支援を行うため、次に掲げる担当者を置く。

(1) クラス担任

(2) ユニット担任

(3) 課題・卒業研究担当教員

(4) 学生相談員

(5) 就職支援員

2 前項各号に掲げる担当者に関し必要な事項は、別に定める。

(庶務)

第15条 センターの庶務は、教務課が行う。

(雑則)

第16条 この規程に定めるもののほか、センターの運営に関し必要な事項は、センター長が別に定める。

附 則

この規程は、平成16年4月7日から施行し、平成16年4月1日から適用する。

附 則(平成17年4月20日規程第11号)

この規程は、平成17年4月20日から施行し、平成17年4月1日から適用する。

附 則(平成18年2月15日規程第6号)

この規程は、平成18年4月1日から施行する。

附 則(平成20年3月11日規程第11号)

この規程は、平成20年4月1日から施行する。

附 則(平成22年5月26日規程第19号)

この規程は、平成22年5月26日から施行する。

附 則(平成24年3月15日規程第25号)
この規程は、平成24年4月1日から施行する。

附 則(平成24年9月12日規程第35号)
この規程は、平成24年9月12日から施行する。

附 則(平成26年3月12日規程第10号)
この規程は、平成26年4月1日から施行する。

附 則(平成27年3月19日規程第28号)
この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則(平成29年3月28日規程第15号)
この規程は、平成29年4月1日から施行する。

附 則(平成29年9月20日規程第30号)
この規程は、平成29年9月20日から施行する。

附 則(令和元年11月13日規程第32号)
この規程は、令和元年11月13日から施行する。

附 則(令和4年4月1日畜大規程第1号)
この規程は、令和4年4月1日から施行する。

附 則(令和6年6月19日畜大規程第3号)
この規程は、令和6年6月19日から施行する。

○帯広畜産大学大学教育センター教育支援室内規

(平成22年5月26日制定)

改正 平成23年5月20日 平成26年3月12日
平成29年3月28日 令和4年4月1日
令和5年11月16日

(趣旨)

第1条 この内規は、帯広畜産大学大学教育センター規程(平成16年規程第14号)第13条第4項の規定に基づき、帯広畜産大学大学教育センター教育支援室(以下「教育支援室」という。)の組織及び運営について定めるものとする。

(業務)

第2条 教育支援室は、次に掲げる業務を行う。

- (1) 学生の修学支援に関すること。
- (2) 教育内容及び教育方法の改善並びに授業の評価に関すること。
- (3) カリキュラム選択等の助言に関すること。
- (4) 学生のユニット分属及び課題・卒業研究担当教員の選択に関すること。
- (5) 資格教育に関すること。
- (6) 教育プログラムの推進及び自己点検・評価並びに改善に関すること。
- (7) その他学生の教育支援全般に関すること。

(組織)

第3条 教育支援室は、次に掲げる室員をもって組織する。

- (1) 室長
 - (2) 帯広畜産大学大学教育センター長(以下「センター長」という。)が指名する者 若干人
 - (3) 教務課長
 - (4) その他室長が必要と認めた者
- 2 前項第2号及び第4号の室員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠又は増員による室員の任期は、前任者又は現任者の在任期間とする。

(室長)

第4条 室長は、センター長が指名する者をもって充てる。

- 2 室長は、教育支援室の業務を総括する。
- 3 室長の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠の室長の任期は、前任者の残任期間とする。

(教育支援室会議)

第5条 室長は、教育支援室会議を招集し、その議長となる。

- 2 教育支援室会議は、室員の過半数の出席がなければ、会議を開くことができない。

(教職課程運営委員会)

第6条 教育支援室に、教職課程の運営並びに自己点検・評価の実施及び改善を図るため、教職課程運営委員会を置く。

- 2 教職課程運営委員会に関する必要な事項は、別に定める。

(庶務)

第7条 教育支援室の庶務は、教務課が行う。

(雑則)

第8条 この内規に定めるもののほか、教育支援室の運営に関し必要な事項は、室長が別に定める。

- 1 この内規は、平成22年5月26日から実施する。
- 2 この内規の実施後、最初に選出される第3条第1項第2号及び第4号の室員の任期は、第3条第2項の規定にかかわらず、平成24年3月31までとする。

附 記(平成23年5月20日)

この内規は、平成23年5月20日から実施する。

附 記(平成26年3月12日)

この内規は、平成26年4月1日から実施する。

附 記(平成29年3月28日)

この内規は、平成29年4月1日から実施する。

附 則(令和4年4月1日)

この内規は、令和4年4月1日から施行する。

附 則(令和5年11月16日)

この内規は、令和5年11月16日から施行する。

○帯広畜産大学大学教育センター規程

(平成16年4月7日規程第14号)

改正	平成17年4月20日規程第11号	平成18年2月15日規程第6号
	平成20年3月11日規程第11号	平成22年5月26日規程第19号
	平成24年3月15日規程第25号	平成24年9月12日規程第35号
	平成26年3月12日規程第10号	平成27年3月19日規程第28号
	平成29年3月28日規程第15号	平成29年9月20日規程第30号
	令和元年11月13日規程第32号	令和4年4月1日畜大規程第1号
	令和6年6月19日畜大規程第3号	

(趣旨)

第1条 この規程は、帯広畜産大学組織規則(平成16年規則第1号)第17条第2項の規定に基づき、帯広畜産大学大学教育センター(以下「センター」という。)の組織及び運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

(目的)

第2条 センターは、帯広畜産大学における入学者の選抜並びに教育の企画、調整及び運営並びに学生の相談及び支援を行い、もって教育の充実を図ることを目的とする。

(業務)

第3条 センターは、次に掲げる業務を行う。

- (1) 教育課程の編成に関すること。
- (2) 大学院担当教員の資格審査に関すること。
- (3) 入学者の選抜に関すること。
- (4) 授業の評価及び改善に関すること。
- (5) 学生の学習支援に関すること。
- (6) 学生の相談及び支援に関すること。
- (7) 障がい等のある学生の特別な修学上の支援に関すること。
- (8) 教育の内部質保証に関すること。
- (9) その他学生の教育及び生活等に関すること。

(職員)

第4条 センターに、次の職員を置く。

- (1) センター長
- (2) 専任教員
- (3) その他必要な職員

(運営会議)

第5条 センターに、センターの運営及び連絡調整のため、帯広畜産大学大学教育センター運営会議(以下「運営会議」という。)を置く。

2 運営会議は、次に掲げる者をもって組織する。

- (1) センター長
- (2) センターの専任教員
- (3) 第7条第2項に規定する学部教育部長
- (4) 第9条第2項に規定する大学院教育部長
- (5) 第11条第2項に規定する入試部長
- (6) 第13条第3項に規定する教育支援室長
- (7) 第13条第3項に規定する学生相談室長
- (8) 第13条第3項に規定する就職支援室長
- (9) 第13条第3項に規定する学生・課外活動支援室長
- (10) 第13条第3項に規定する留学生支援室長

- (11) 第13条第3項に規定する特別修学支援室長
 - (12) 第13条第3項に規定する入学者選抜方法研究室長
 - (13) 第13条第3項に規定する入試広報室長
 - (14) 教務課長
 - (15) 入試課長
 - (16) 学生支援課長
 - (17) その他大学教育センター長が必要と認めた職員
- (部)

第6条 センターに、学部教育部、大学院教育部及び入試部を置く。

(学部教育部)

第7条 学部教育部は、学部及び別科の学生に対し教育及び学生支援の実施に関する必要な事項について企画、調整及び運営を行うものとする。

- 2 学部教育部に学部教育部長を置き、学長が指名する副学長をもって充てる。
- 3 学部教育部に副学部教育部長若干人を置き、学部教育部長が指名する教員をもって充てる。
- 4 副学部教育部長の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、副学部教育部長の任期の末日は、当該副学部教育部長を指名する学部教育部長の任期の末日以前でなければならない。

(学部教育部会議)

第8条 学部教育部に、前条第1項の実施に関し必要な事項を審議するため、帯広畜産大学大学教育センター学部教育部会議(以下「学部教育部会議」という。)を置く。

- 2 学部教育部会議の組織及び運営に関し必要な事項は、別に定める。

(大学院教育部)

第9条 大学院教育部は、大学院の学生に対し教育及び学生支援の実施に関する必要な事項について企画、調整及び運営を行うものとする。

- 2 大学院教育部に大学院教育部長を置き、学長が指名する副学長をもって充てる。
- 3 大学院教育部に副大学院教育部長若干人を置き、大学院教育部長が指名する教員をもって充てる。
- 4 副大学院教育部長の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、副大学院教育部長の任期の末日は、当該副大学院教育部長を指名する大学院教育部長の任期の末日以前でなければならない。

(大学院教育部会議)

第10条 大学院教育部に、前条第1項の実施に関し必要な事項を審議するため、帯広畜産大学大学教育センター大学院教育部会議(以下「大学院教育部会議」という。)を置く。

- 2 大学院教育部会議の組織及び運営に関し必要な事項は、別に定める。

(入試部)

第11条 入試部は、入学者選抜に関する必要な事項について、企画、調整及び運営を行うものとする。

- 2 入試部に入試部長を置き、学長が指名する副学長をもって充てる。
- 3 入試部に副入試部長若干人を置き、入試部長が指名する教員をもって充てる。
- 4 副入試部長の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、副入試部長の任期の末日は、当該副入試部長を指名する入試部長の任期の末日以前でなければならない。

(入試部会議)

第12条 入試部に、前条第1項の実施に関し必要な事項を審議するため、帯広畜産大学大学教育センター入試部会議(以下「入試部会議」という。)を置く。

2 入試部会議の組織及び運営に関し必要な事項は、別に定める。

(室)

第13条 センターに学部教育部及び大学院教育部が実施する教育及び学生支援に係る諸施策について、その円滑な実施、充実に図るため、次に掲げる室を置く。

(1) 教育支援室

(2) 学生相談室

(3) 就職支援室

(4) 学生・課外活動支援室

(5) 留学生支援室

(6) 特別修学支援室

2 入試部に入学者選抜方法及び学生募集広報に係る諸施策について、その円滑な実施及び充実に図るため、次に掲げる室を置く。

(1) 入学者選抜方法研究室

(2) 入試広報室

3 前2項に掲げる室に室長を置く。

4 第1項及び第2項に掲げる室の組織及び運営に関し必要な事項は、別に定める。

(クラス担任等)

第14条 センターに、学生の修学、学生生活に関する支援、卒業研究の指導、進路指導及び就職支援を行うため、次に掲げる担当者を置く。

(1) クラス担任

(2) ユニット担任

(3) 課題・卒業研究担当教員

(4) 学生相談員

(5) 就職支援員

2 前項各号に掲げる担当者に関し必要な事項は、別に定める。

(庶務)

第15条 センターの庶務は、教務課が行う。

(雑則)

第16条 この規程に定めるもののほか、センターの運営に関し必要な事項は、センター長が別に定める。

附 則

この規程は、平成16年4月7日から施行し、平成16年4月1日から適用する。

附 則(平成17年4月20日規程第11号)

この規程は、平成17年4月20日から施行し、平成17年4月1日から適用する。

附 則(平成18年2月15日規程第6号)

この規程は、平成18年4月1日から施行する。

附 則(平成20年3月11日規程第11号)

この規程は、平成20年4月1日から施行する。

附 則(平成22年5月26日規程第19号)

この規程は、平成22年5月26日から施行する。

附 則(平成24年3月15日規程第25号)
この規程は、平成24年4月1日から施行する。

附 則(平成24年9月12日規程第35号)
この規程は、平成24年9月12日から施行する。

附 則(平成26年3月12日規程第10号)
この規程は、平成26年4月1日から施行する。

附 則(平成27年3月19日規程第28号)
この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則(平成29年3月28日規程第15号)
この規程は、平成29年4月1日から施行する。

附 則(平成29年9月20日規程第30号)
この規程は、平成29年9月20日から施行する。

附 則(令和元年11月13日規程第32号)
この規程は、令和元年11月13日から施行する。

附 則(令和4年4月1日畜大規程第1号)
この規程は、令和4年4月1日から施行する。

附 則(令和6年6月19日畜大規程第3号)
この規程は、令和6年6月19日から施行する。

○帯広畜産大学大学教育センター教育支援室内規

(平成22年5月26日制定)

改正 平成23年5月20日 平成26年3月12日
平成29年3月28日 令和4年4月1日
令和5年11月16日

(趣旨)

第1条 この内規は、帯広畜産大学大学教育センター規程(平成16年規程第14号)第13条第4項の規定に基づき、帯広畜産大学大学教育センター教育支援室(以下「教育支援室」という。)の組織及び運営について定めるものとする。

(業務)

第2条 教育支援室は、次に掲げる業務を行う。

- (1) 学生の修学支援に関すること。
- (2) 教育内容及び教育方法の改善並びに授業の評価に関すること。
- (3) カリキュラム選択等の助言に関すること。
- (4) 学生のユニット分属及び課題・卒業研究担当教員の選択に関すること。
- (5) 資格教育に関すること。
- (6) 教育プログラムの推進及び自己点検・評価並びに改善に関すること。
- (7) その他学生の教育支援全般に関すること。

(組織)

第3条 教育支援室は、次に掲げる室員をもって組織する。

- (1) 室長
 - (2) 帯広畜産大学大学教育センター長(以下「センター長」という。)が指名する者 若干人
 - (3) 教務課長
 - (4) その他室長が必要と認めた者
- 2 前項第2号及び第4号の室員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠又は増員による室員の任期は、前任者又は現任者の在任期間とする。

(室長)

第4条 室長は、センター長が指名する者をもって充てる。

- 2 室長は、教育支援室の業務を総括する。
- 3 室長の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠の室長の任期は、前任者の残任期間とする。

(教育支援室会議)

第5条 室長は、教育支援室会議を招集し、その議長となる。

- 2 教育支援室会議は、室員の過半数の出席がなければ、会議を開くことができない。

(教職課程運営委員会)

第6条 教育支援室に、教職課程の運営並びに自己点検・評価の実施及び改善を図るため、教職課程運営委員会を置く。

- 2 教職課程運営委員会に関する必要な事項は、別に定める。

(庶務)

第7条 教育支援室の庶務は、教務課が行う。

(雑則)

第8条 この内規に定めるもののほか、教育支援室の運営に関し必要な事項は、室長が別に定める。

- 1 この内規は、平成22年5月26日から実施する。
- 2 この内規の実施後、最初に選出される第3条第1項第2号及び第4号の室員の任期は、第3条第2項の規定にかかわらず、平成24年3月31までとする。

附 記(平成23年5月20日)

この内規は、平成23年5月20日から実施する。

附 記(平成26年3月12日)

この内規は、平成26年4月1日から実施する。

附 記(平成29年3月28日)

この内規は、平成29年4月1日から実施する。

附 則(令和4年4月1日)

この内規は、令和4年4月1日から施行する。

附 則(令和5年11月16日)

この内規は、令和5年11月16日から施行する。

大学等名	帯広畜産大学	申請レベル	リテラシーレベル
教育プログラム名	数理・データサイエンス・AI教育プログラム	申請年度	令和7年度

取組概要

帯広畜産大学 数理・データサイエンス・AI教育プログラム概要（リテラシーレベル）

■ プログラムの目的と概要

数理・データサイエンス・AIへの関心を高めるとともに、それらを適切に理解し活用する基礎的なリテラシーとしての知識、技能、心構えを身につけ、より進んで課題を解決する実践的な学習や応用に備えることを目的とする。プログラム前半は講義形式を中心とし、数理・データサイエンス・AIと実社会・実生活および獣医農畜産学関連研究との結びつきに関する動向、課題、可能性を学ぶ。後半は演習形式を中心とし、スプレッドシートおよびプログラミングにより、データの統計的処理、表現、分析のプロセスを学ぶ。

■ 身につけられる能力

- ①身の回りの生活や経済活動、および大学での学習・研究におけるデータサイエンスやAIの活用事例と、可能性、課題、限界を説明できる。
- ②データサイエンスやAIの基礎となるデータの統計的・数理的な表現や推論について、適切な方法を判断、評価できる。
- ③スプレッドシートにより、入力と出力のデジタルデータを適切に扱って、2変量までの記述統計を実践できる。
- ④統計プログラミングにより、入力と出力のデジタルデータを適切に扱って、2変量までの記述統計を実践するプロセスを再現できる。

■ プログラムの構成・修了要件

科目名	単位数	開講期	修了要件
データサイエンス入門	2単位	1年次前期	本科目を修得すること

■ 実施体制

